

あなたの声を議会に...

**たるみず**

**No.117**  
(年4回発行予定)  
平成30年11月15日発行

# 市議会だより

垂水の夕日に感激!!  
～民泊で来た子供たち～



提供者：市渡しのぶ

【特集 第3回】  
**垂水市の史跡めぐり**

協和地区にある和光保育園のすぐ隣に「公卿石」がある。この石は、安土桃山時代に豊臣秀吉により京から薩摩の地に配流となった「近衛信輔」が腰掛けたと云われている。大河ドラマ「西郷どん」のオープニングにも登場した江ノ島、その名称も、この時に由来する。

このえのぶすけ  
**近衛信輔の腰掛石―公卿石―**

安土桃山時代に豊臣秀吉は、天下人として最高権力の地位に昇りつめ、更に公家の最高権威である「関白」まで手に入れた。しかし公家の戸惑いや反発の動きが広がり、その中でも激しく反発した公家の一人が近衛信輔であった。

信輔は、その後秀吉や後陽成天皇の怒りを買って、文禄四（1594）年、薩摩の坊津へ配流されたのであった。

信輔たちを乗せた船は瀬戸内海を航行し、日向の細嶋に上陸、都城を通過して大隅の廻（現在の福山）に到着した。道中記録によると、朝鮮出兵から前々年に帰国した垂水島津

家第二代・以久（ゆきひさ）が牧之原の坂まで信輔を迎えに駆けつけており、近衛家と島津家の強い結びつきが覗かれる。

一行は福山から山川へ向けて船出したが梅雨時の悪天候のため、急ぎよ海潟（記録では「カイカタ」）に着船し、天候回復までの十日間、景好（けいよ）き寺（松岳寺（曹洞宗））に逗留を余儀なくされた。その間に信輔は菅原神社に参詣したり、訪ねて来た人たちに『源氏物語』を貸し、油煙（墨）を与えている。そして海辺の石に腰掛けて桜島を富士山に、弁天島を関東の江ノ島になぞらえて海潟の美しい眺めに感嘆し、以後、弁天島は江ノ島と呼ばれるようになったと伝えられる。



（資料提供者：瀬角龍平）

**市議会へ行こう**

平成30年 第4回定例会会期日程（予定）

| 日      | 月                 | 火          | 水  | 木  | 金             | 土     |
|--------|-------------------|------------|----|----|---------------|-------|
| 11月18日 | 19                | 20         | 21 | 22 | 23            | 24    |
| 25     | 26<br>議会<br>運営委員会 | 27         | 28 | 29 | 30<br>本会議     | 12月1日 |
| 2      | 3                 | 4          | 5  | 6  | 7             | 8     |
| 9      | 10                | 11<br>一般質問 | 12 | 13 | 14<br>産業厚生委員会 | 15    |
| 16     | 17<br>総務文教委員会     | 18         | 19 | 20 | 21<br>本会議     | 22    |

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。  
※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。  
※11月30日、12月21日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。  
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。  
※陳情・請願については議会運営委員会前日（11月22日）までに提出下さい。

**編集後記**

垂水市は、今年市政施行60周年となり、記念式典が10月7日に行なわれ、これまで各種分野で市勢発展に尽力された247の方々・団体に表彰がありました。功労者の皆様の表彰をみんなで喜び祝福しましょう。議会では、今年の議会報告会を牛

根漁協と意見交換会として10月18日に行ないました。漁協からは、施設整備や若い従業員の不足、雇用者の住宅確保が問題であるとの意見等が出されました。議会でも課題・問題点を共有し、施策の提言や解決に努めなければなりません。  
(梅木 勇文責)

**目次**

【平成30年第3回定例会】

議決事項について..... 2

常任委員会審議結果..... 3

一般質問..... 5

議案等の審議結果..... 11

平成30年第4回定例会日程案

編集後記..... 12

発行／垂水市議会  
編集／垂水市議会だより編集委員会  
鹿児島県垂水市上町114番地  
Tel. 0994-32-1111 (358)  
メールアドレス  
t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



平成30年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

| 番号       | 件名  | 審議結果     |
|----------|---|----------|
| 報告 第6号   | 専決処分の承認を求めることについて<br>(平成30年度垂水市一般会計補正予算(第2号)) |          |
| 議案 第55号  | 平成29年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について              | 原案可決及び認定 |
| 議案 第56号  | 平成29年度垂水市病院事業会計決算の認定について                      | 認定       |
| 議案 第57号  | 垂水市マリンスポーツ施設条例 案                              | 原案可決     |
| 議案 第58号  | 垂水市税条例等の一部を改正する条例 案                           | 原案可決     |
| 議案 第59号  | 人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて                    | 適任       |
| 議案 第60号  | 人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて                    | 適任       |
| 議案 第61号  | 垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について                       | 同意       |
| 議案 第62号  | 垂水市教育委員会委員の任命について                             | 同意       |
| 議案 第63号  | 平成30年度垂水市一般会計補正予算(第3号) 案                      | 原案可決     |
| 議案 第64号  | 平成30年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 案                | 原案可決     |
| 議案 第65号  | 平成30年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算(第1号) 案                | 原案可決     |
| 議案 第66号  | 平成30年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号) 案            | 原案可決     |
| 議案 第67号  | 平成30年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 案                | 原案可決     |
| 議案 第68号  | 平成30年度垂水市水道事業会計補正予算(第1号) 案                    | 原案可決     |
| 議案 第69号  | 平成29年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について                     | 継続審査     |
| 議案 第70号  | 平成29年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について               | 継続審査     |
| 議案 第71号  | 平成29年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について               | 継続審査     |
| 議案 第72号  | 平成29年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について               | 継続審査     |
| 議案 第73号  | 平成29年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について               | 継続審査     |
| 議案 第74号  | 平成29年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について           | 継続審査     |
| 議案 第75号  | 平成29年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について                 | 継続審査     |
| 議案 第76号  | 平成29年度垂水市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について               | 継続審査     |
| 議案 第77号  | 平成29年度垂水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について              | 継続審査     |
| 陳情 第11号  | 日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択についての陳情            | 採択       |
| 意見書案 第9号 | 日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書 案                   | 原案可決     |

学校などの  
ブロック塀

# 対策費及び修繕費の予算化

## 危険箇所公共施設5ヶ所・通学路28ヶ所

平成30年第3回定例会は、9月1日から9月21日まで22日間の会期で開かれました。今定例会では、平成30年度各会計補正予算をはじめとして、条例制定や改正、契約、専決処分などの14件の議案が審査されました。

また、上程された陳情1件が審査の結果採択され、陳情に伴う意見書を1件可決しました。意見書は国に送付されました。

一般会計補正予算の主な事業は、ブロック塀修繕や災害復旧事業で最終本会議では、全会一致で可決されました。補正後の一般会計予算額は、123億5,315千円となりました。

一般質問には、10名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。



垂水小学校敷地の擁壁



柘原小学校プールのひび割れた擁壁

学校・通学路を調査報告

○調査結果は、建築基準法で定めた高さ以上の箇所はなかったとのことです。

報告の内容は、「垂水小学校敷地の石積みの擁壁、柘原小学校プールのコンクリートと擁壁のひび割れ、ふれあい館とカトリック幼稚園の間のブロック塀の老朽化によるひび割れ、野球場のコンクリート擁壁のはがれ等」というものでした。

通学路は、境校区3ヶ所、牛根校区2ヶ所、松ヶ崎校区3ヶ所、協和校区5ヶ所、垂水校区2ヶ所、水之上校区6ヶ所、柘原校区3ヶ所、新城校区4ヶ所の計28ヶ所が指摘されています。指摘の内容は、児童への交通指導や歩道部分の除草対策や老朽空き家対策が主なものです。



村山 芳秀 議員

・新庁舎建設計画の広聴活動の重要性を認識すべき

問 広聴という言葉は地味だが、行政が新たな施策を展開しようとする時、行政と市民が信頼関係を構築していくためには非常に重要。基本構想段階での意識調査や市民アンケートの実施がないため、基本構想の資料自体にも疑問点が出てくる。市長は、旧フェリー乗り場での災害はないと言いつつ切られたが、中央地には反対意見が根強いものがある。庁舎位置について、市民の意見を反映したものか。

答 住民意見の集約方法としてアンケート、パブコメという方法がある。反対意見というのは中央地区であったが、いいものをつくってくれという意見が多かったと理解している。

・振興会要望の回答は速やかに

問 広聴活動の一環として、以前は年2回あった行政連絡会が年1回となった経緯は。牛根地区振興会長会では振興会ごとではなじまない地区

全体の要望事項を取りまとめ、大隅河川国道事務所、大隅地域振興局、市へ要望している。国・県は1週間前に送った要望書に最新の状況で回答をいただいたが、市の対応は昨年を引き続き、その場の回答はなかった。要望回答はできる、できないは別として速やかにすべき。

問 振興会から寄せられた要望事項については各課に振分け、市民生活に及ぼす重要性、対応の可能性を検討し、優先順位で予算要求、審議、議決を経て新年度で事業実施している。

・共同墓地の整備補助率の引き上げ

問 市営墓地・共同墓地で墓守がない、特に一人暮らしの人が不安を訴える方など多いが現状はどうか。共同墓地の整備補助率について集落水道並みの災害は3分の2、集落墓地納骨堂建設など2分の1などに補助率を引き上げて環境整備を。

答 納骨堂への改葬手続きが増加し、新たな墓地を求める人がいないのが現状である。管理者不明など無管理状態の墓地が増加し対策が必要な時期に来ている。昭和51年に制定された共同墓地環境整備補助金要綱の補助率の引き上げ、他自治体の状況も調査し、関係課と協議していく。

～議員の主な活動～

【平成30年9月～11月分】

- 9月16日 垂水市自衛隊協力隊・家族会総会
- 10月2日～4日 議会運営委員会所管事項調査（長野県中野市、飯綱町）
- 10月7日 垂水市市制施行60周年記念式典
- 10月15日、16日 決算特別委員会
- 10月18日 牛根漁協との意見交換会
- 10月19日 小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会鹿児島県要望
- 10月24日 桜島火山活動対策協議会協議会中央要望（鹿屋市、霧島市、鹿児島市と合同で要望）
- 11月6日 鹿児島県市議会議長会臨時総会（東京）
- 11月11日 関西垂水会（大阪市）



意見交歓会



桜島火山活動中央要望

産業厚生委員会

9月13日に産業厚生委員会が開会され、付託された議案について審議され、原案の通り可決しました。審議の際の主な質問と回答及び意見について紹介します。

主な質疑

平成30年度一般会計補正予算案

補正予算の使い方は

問 6次産業化支援事業補助金について、具体的にどんな商品に取組んでいるのか。

答 専門家を招へいしワーキンググループで、揚げパスタやかんぱちのカマのフレークなどを協議している。この開発は一社のみでは難しく複数の企業が一緒になって開発を行っているところである。

問 放課後児童健全育成事業費の委託料が増額されているが、詳細はどうなっているのか。

答 現在、垂水第一、第二児童クラブはこのための組織が作られ運営し



さざなみ児童クラブ

ており、水之上及び協和児童クラブはシルバー人材センターへ委託を行い、さざなみ児童クラブはさざなみ保育園が運営している。市からの委託料はどの児童クラブへも支払いをおこなっており、今回さざなみ児童クラブ、水之上児童クラブ、第2垂水児童クラブに対し処遇改善加算分の増額及び障がい児の受入により支援員を増員したことによる委託料の増額が行われたものである。

問 荒廃農地再生事業補助金について、農家の取り組み方は。

答 市の単独事業の部分で平成28年度が4万4,660円、29年度が5万9,349円、今年度も80万円を超えていることから再生事業への関心が深いと考えている。

問 道路維持費の委託料3,650万円の内容は。

答 新庁舎建設に合わせてロータリーから錦江町に抜ける道路の歩道幅員が1.5メートルと狭い事からの改良の基本設計に係るものであり、このなかでは錦江町周辺の冠水問題を改善できないかも検討を行う。

平成30年度漁業集落排水処理施設特別会計補正予算案

加入促進の努力を

問 対象者の増減はどうなっているのか。また今後の見通しは。

答 平成29年度は3件の加入があり、くみ取りからの移行が1件、新築が2件である。

毎年、加入促進会を行うなど加入促進に努めているが、なかなか加入していただるのが難しい状況になっ

ている。

平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算案

滞納の実態は

問 滞納繰越の内訳は。

答 17名、18件分で5万1,273円であり、現在納付済額が1万9,16円、現未納額が3万1,357円となっており、納付おくれや納付漏れが主な理由である。

平成30年度水道事業会計補正予算案

災害への備えは

問 震度7クラスの地震が起こったとき、心配されることは。

答 老朽管の交換時に耐震性のある配管へ交換しているが、震度が6強を目指しており、そもそも普及率が20%でまだまだ更新が終わっていないため、震度7の場合、心配するところがある状態である。

# 総務文教委員会

9月14日に総務文教委員会が開会され、付託された議案、陳情及び意見書案について審議され、原案の通り可決しました。審議の際の主な質問と回答について紹介します。

## 主な質疑

垂水市マリンスポーツ施設条例案

### 決定権はだれに

**問** 利用許可や営業時間等市長の許可が必要と書かれているが、指定管理業者に行わせることが出来ることもある。この場合決定権は誰になるのか。

**答** 基本的に条例案では市長が行うことになっているが、指定管理者が行う場合は、指定管理者が定めるものを実施していいと考えている。

**問** 学校教育との関係で使用料免除も含めて体験型プログラム等はあるのか。

**答** 現在、プログラムは5つほど提示されており、教育だけでなく地元

の方々も含めた形もあり、教育旅行等にも活用できると考えている。



たるたるばあく

垂水市税条例の一部を改正する条例案

### 改正でたばこ税はどうなる？

**問** 障がい者、未成年者、寡婦及び寡夫に対する非課税措置の所得要件



北方 貞明 議員

### ・災害に対し、しっかりとした備蓄を

**問** 本市での災害用備蓄量の現状と今後の備蓄について伺う。

**答** 災害を受け避難所生活をされた方々に対し、必要な食料や飲料水等を提供する目的で備蓄しているもので、市役所別館、旧協和中学校などで備蓄していたが、平成29年度に計画的な食料や資材の備蓄の推進を図る目的として垂水中央運動公園内に建設した。

現在の備蓄品は保存パン・576箱、補助食品・180箱、ご飯類・2,080袋、温泉水500ml・1,000本、マスクやウェットタオルなど衛生資材、折り畳み式マットや寝具等も備蓄しており、おおむね3日間を想定して174名分に相当する備蓄量である。本市での最大災害予測調査では避難者数は1,400人と想定されており、この1,400人を基準におおむね3日間を目標に備蓄していく必要がある。

### ・新庁舎は議会の議決を得てから進む

**問** 新庁舎建設は時限立法ではなく、限定措置法のもと新庁舎建設が進められているが、限定措置法の公共施設等適正管理推進事業債が制定された背景について伺う。

**答** 公共施設等適正管理等総合管理計画が策定され、老朽化対策等の取組みが本格化していく見通しとなったことや熊本地震被害状況から庁舎機能の確保等の必要性が高まり、国において平成29年度、新たに長寿命化、立地適正化、市町村役場機能緊急保全事業を加え、公共施設等適正管理推進事業債が創設され、市町村役場機能緊急保全事業債については、平成32年度までの4年間の限定措置となっている。

**問** 新庁舎建設予定地は民間業者と契約、覚書が解除された事で手付金の件はどのようになったのか。

また、建設にあたり議会への議決案件はどのような手順なのか。  
**答** 契約内容、金額については、相手方の確認もあるので、この場では答えられない。これからの議決案件は用地取得費の予算化の段階として平成32年度一般会計予算案、次に用地取得契約の段階として平成32年度中に議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例に基づき、土地取得について議案を議決案件として提案する。

が引きあがったが、その中でも寡婦に対し、福祉の面で救済できないか。  
**答** いろんな分野において常に意識を持って検討していくことが課題だと認識しており、担当課とも協議、検討していきたい。

**問** 紙巻たばこに係る税率の経過措置が終了することに伴って市税への影響はどれくらいを見込んでいるのか。

**答** 平成29年度実績に合わせたのたばこ税増税額は、年間500万円程度の増収になるのではないかと見込んでいる。

平成30年度一般会計補正予算案

### 選定基準はどのように

**問** 60周年記念式典における表彰者の選定過程と基準の詳細な内容はどのようなになっているのか。

**答** 当初は、50周年における表彰者数ということで260名程度と考えて予算計上していた。しかしながら、各所へ推薦の依頼を行ったところ予想を超える合計300名となったことから、補正予算案においてを追加

の計上を行った。

また、選定基準につきましては、地方自治、それから産業部門など5つの項目を定めており、50周年記念から10年間の間で実績が顕著だった方々、年数でいくと10年以上実績があった方を対象としている。

### 石積み崩落対策の予算化

**問** 垂水小学校校庭南側の石積みの崩落等の解消を図るための設計について、どのように考えているのか。

**答** 設計については、昔ながらの景観は非常に大切であり、既存の石積みを残しながら補強できるのかということを含めての設定委託を考えている。

### 学校の修繕は問題ないか

**問** 小学校の修繕料のあり方について、予算措置における要求方法についての問題はないか

**答** 予算を確保しながら随時修繕はしているが、早急な対応が必要な場合は、補正予算で対応している。



篠原 静則 議員

### ・終原小学校に更衣室を

**問** 終原小学校には、山手側に更衣室等があったと記憶していますが、現在は、その建物はなくなり、空き教室を使用していると聞いています。改善方法があれば教えてください。

**答** 終原小学校の更衣室新設については、学校の要望等も十分伺いながら、関係課と今後協議していく。

### ・職員の健康管理対策は

**問** 最近、4、5名の職員が休んでいると聞か、仕事やプライベートの原因等さまざまと思う。総務課では、どの程度把握しているのか。プライバシーへの配慮もあるが、話せる範囲で現状と原因を教えてください。

**答** 現在、身体的体調不良による病気休暇中の職員1名、メンタル的体調不良を訴えて病気休暇中の職員は4名である。職員の健康管理については、これまで血液検査や心電図検査を初めとする健康診断だけではなく、パソコン業務に従事する職員に

### ・インフラ整備できれいな街づくりを

**問** 錦江町の堤防の穴ぼこが5ヶ所程、派出所からとんとこ館へ行く市道4号線の刈込み等どうなったか。かねがね大隅の玄関と言われている臨港道路、国道の信号から新港に行く道路の整備もどうなったか。

**答** 海岸堤防の陥没については、陥没が発見した際、危険杭を環境整備班で設置した。その後、大隅地域振興局の担当を現地に案内し、現地で直接要望した。市道4号の植栽帯の低木については、かなり高くなっており除草の除去も含め低く刈込むよう造園業者に依頼した。垂水大橋から潮彩町交差点までと、国道から垂水新港までの臨港道路の除草を要望した。その後、垂水大橋から交差点までは除草されたようだが、国道から新港までのソテツの伐採が未実施であったので、先日、振興局へ実施の要望を行った。

### その他の質問事項

○財産の誤った表示登記について

平成30年 第3回定例会

# 一般質問

10議員が登壇!

## 市政を問う

第3回定例会において、10名の議員が一般質問を行いました。



公開された新庁舎(案)

**問** 庁舎建設について行政当局は、庁内検討委員会や外部検討委員会を設置して意見を集約し、行政として7ヶ所の候補地を3ヶ所に絞り込み、更に市民に対してはパブリックコメントを実施し、議会に対してもその都度十分な説明をしたうえで、最終的な判断をしてきたと認識している。しかし異議を申し立てている市民の中には、海に近いというだけで安全性に不安があると指摘する方もいるが、位置や構造面の安全性、市民の負担軽減、移転後の跡地の活性化策についてどのような見解か伺う。



堀内 貴志 議員

・新庁舎建設について  
安全性に問題点はない!

**答** 予定地の錦江町は、埋立てを完了して48年が経過し、公営住宅や垂水中央病院、住宅、企業等、多くの市民が生活している地域であるが、これまで災害もなく安心して暮らしている地域である。

【位置の安全性】  
庁内や専門的な視点で外部評価委員の意見審査の結果に基づき安全性について確認して決定した。更に海岸に隣接している土地であるので現状からの地盤レベルのかさ上げなど、設計、建設の段階で地震、津波、桜島の爆発等の災害に対しても十分な安全策を講じる。

【構造面の安全性】  
国が定める官庁施設の総合耐震計画基準に従い、想定し得る全ての災害に対して構造体、建築設備等について最高グレードで整備する。従って最新で最高の防災拠点等として使用できる庁舎として使用できる建物となる。

【市民の負担軽減】  
熊本地震後、平成32年までの限定措置として創設された有利な事業債を利用することから通常の事業債よりも財政負担が抑えられる。

【旧庁舎周辺の活性化策】  
旧庁舎周辺が衰退しないように市民の意見を反映し活性化策を講じる。



持留 良一 議員

・産後ケアへの支援体制を

**問** 2015〜2016年にかけて102人が妊娠中から産後にかけて自殺するという調査報告があり、要因は、産後うつが原因とみられるという内容であった。深刻化すれば虐待や育児放棄につながったり、自殺を招いたりする恐れがあり、不調の兆しを早めに見つけ、行政の窓口など適切なケアにつなげることが求められている。本市での実態の把握と必要性及び課題をどのように考えているか取組みへの決意と考えを伺う。

**答** 本市は助産院や助産師もいなく、宿泊産後ケアを受けるためには他市町村に行く必要がある。他市町村の取組みを確認し、国の補助事業の導入に向け検討していく。今後も細かな支援を行っていく。

・ハザードマップを生かそう

**問** 西日本豪雨災害で「洪水ハザードマップ」が生かせなかったという教訓があった。課題は、「マップ」を住民の避難にどう結び付けるのか



その他の質問事項  
○新庁舎建設地の安全性と財政  
○平和事業の取組み

ということである。そのためには、「マップ」が正しく理解でき、防災・減災行動につながるものでなければ役に立たない。行政は振興会任せにせず、一緒になってマイハザードマップを作成すべきと考えるが見解を伺う。

**答** 自主防災組織の方々に参加してもらい、地域独自のハザードマップを作成することにより、より一層防災意識の向上につながると考える。また、地域において、過去に発生した災害による影響箇所や日ごろ不安に感じている箇所についても、掲載することで、より実効性のあるハザードマップを作成できることが期待されることから、今後検討していく。



感王寺 耕造 議員

・通学路におけるブロック塀など危険箇所はどうなっているのか

**問** 夏休み中に行われた通学路の合同点検の調査結果についての指摘内容件数はどれ位あったのか。

**答** 7月に8つの小学校校区を点検したが、市内合計28カ所が指摘を受けている。

内訳としては、児童への交通指導を徹底するが最も多く、そのほかでは歩道部分の除草対策や老朽空き家等があり、ブロック塀については、協和校区と新城校区の2カ所であった。このブロック塀の対応については、建築基準法も関係することから、県地域振興局・建築係と連携を図りながら修繕、改善のお願いをすることとしている。

・子供達に多様な学びの場の提供を

**問** 校長室が保健室登校等の子供に対し学級での授業を受けさせようとするなど行き過ぎた指導や、学校に縛るといふことは、教育機会確保法

において禁止はされていないが、受け皿を示せということと理解している。このことを不登校の子供、保護者に対して明示しているのか、提示しているのか、その点について伺う。

**答** 教育機会確保法は、学校復帰を前提にした従来の不登校対策を転換し、不登校の子供たちの休養の必要性を認めるとともに、不登校の子供に学校以外での多様な学びの場を提供することを目的に、平成28年に公布された法律である。

垂水市教育委員会として、教育機会確保法の基本方針を、改めて管理職研修会において周知の徹底を図っていきたくと考えている。あわせて、不登校児童生徒やその保護者への共感的理解に基づき、状況によっては、休養の必要性があることにも留意しながら、相談室等での個別指導を行ったり、フリースクール等の紹介を行ったりといった、それぞれの子供の実情に応じた支援の充実に努めるよう、引き続き指導を行っていきたくと考えている。

その他の質問事項

○水辺サポート等の任意団体への除草機器の貸与・補助の考えは  
○空き家における全体調査、地権者への意向調査の考えは



川越 信男 議員

・子どもの学力向上について

問 全国学力・学習状況調査結果を受けて、垂水市の子どもの学力の現状と課題について伺う。

答 本年4月、小学校2年生から中学校3年生までを対象に実施した全国的な標準学力検査においては、小学校は、全国平均を上回り、中学校は、ほぼ全国平均並みの結果が出ている。学力調査の課題を真摯に受け止めて、読解力向上のための音読の充実や、必要な事柄を過不足なく、きちんと説明できる力の育成等について、指導を行い、引き続き、授業の充実を核とした学力の向上に努めていきたいと考えている。

・青少年海外派遣事業「夢の翼」について

問 青少年海外派遣事業「夢の翼」の事業実施に向けてこれまでの進捗状況を伺う。

答 平成31年1月に垂水中央中学校の2年生10人を香港に派遣し、国際感覚を養うとともに、英語力向上の契機とすることなどを目的として、

垂水市の紹介プレゼンテーションの作成や香港についての調べ学習、英会話研修などの事前研修を重ねていく計画となっている。本市の学校教育の歴史の1ページとなる大きな成果が得られるよう、準備を進めているところである。

・たるみず元気プロジェクトについて

問 たるみず元気プロジェクトについて最大23回の健康チェックを実施することによって、既に11回の健康チェックが実施されているが、現在までの実施状況について伺う。

答 今年度の実施状況については、7月8日の垂水中央病院を皮切りに、水之上地区体育館、協和地区公民館、牛根・境・新城・柘原・松ヶ崎の各小学校の校舎を活用して実施した。直近の9月6日までの参加状況については、昨年の参加者の約1.4倍にあたる529名の方が参加しており、これまでの実施11日間における参加率は82.4%となっている。今後も対象者のうち参加申込をしていない市民の方々に、自身の健康状態を管理できる本事業の趣旨を十分理解してもらい、参加に至るよう呼びかけていきたいと考えている。

・期日前投票所を新城・牛根にも

・資源ごみ、回収市民団体への補助金増額を



梅木 勇 議員

問 ごみ減量化及び資源の再利用を図る目的で、ごみ減量化対策事業補助金要綱が制定されているが、活用はスポーツ少年団等に限られ要綱にある振興会や老人クラブ等各種市民団体の活用がないのは補助金単価にあると思われる。大いに活用されるよう補助金単価の増額見直しが必要と考えるが検討できないか伺う。



回収された古紙・空き瓶

問 来年は市長選挙、県議会議員、市議会議員選挙が行われる。期日前投票については、前回の市長選挙では垂水地区の垂水市民館と垂水小学校の投票所を合わせた投票率は41.92%、新城地区公民館では25.67%、牛根地区全体では18.79%、このように垂水地区と比べると3つのどの選挙でも新城地区で10%以上、牛根地区全体では20%前後の差があり市役所の期日前投票所に近い垂水地区の利用が高くなっている。両地区の期日前投票環境向上、利便性のためにも新城、牛根両支所に期日前投票所の設置はできないか伺う。

答 両地区については、他の地区と比較すると期日前利用が進んでいない状況にあり、その理由として市役所の投票所までが遠いためと推察している。投票所の増設は議員が言われるように有権者の利便性が図られることから、課題を協議し選挙管理委員会の意見も伺い検討したい。

その他の質問事項  
○まちづくり、地域おこし協力隊の人材導入が必要ではないか



森 正勝 議員

・保険税率の引上げは避けられないが、急激な引上げは避けるべき

問 国民健康保険事業は運営主体が市町村から都道府県へ移されました。垂水市の現状と課題について。

答 県の運営方針は、平成30年度決算で赤字が発生した市町村で平成32年度に赤字の解消・削減が見込まれない市町村は、平成31年度中におおむね5年度以内の健全化計画を作成して、法定外繰り入れの解消に努めること。保険税の算定方式については、平成35年度を目標として全市町村が所得割・均等割・平等割の3方式に統一することになっており、本市は3方式への改訂も実施しなければならず、これらが新制度移行に伴う本市の課題として挙げられる。

・ブロック塀点検の結果は

問 大阪北部地震でブロック塀が倒れて小学生1人が亡くなりました。この事故を受け、文部科学省が総点検を行ったが、垂水市の結果はどうだったのか、公共施設についても教えてください。

えていただきたい。

答 点検確認を行った結果、垂水小学校敷地の石積みの擁壁・柘原小学校のプールのコンクリート擁壁のひび割れ及びふれあい館とカトリック幼稚園の間のブロック塀の老朽化によるひび割れ、野球場のコンクリート擁壁など、倒壊のおそれのある危険箇所と判断している。これらは今議会に予算計上して危険箇所の解消に努める。通学路については協和校区と新城校区に指摘があり、協和校区については現在専門的な点検の準備を行っている。

・ふるさと納税は原点に

問 ふるさと納税は地域に寄付すべき、垂水市の基本的な考え方は。

答 寄付者が「自然環境や景観づくり」「地域資源の活用」「地域の活性化」「安全に配慮した社会基盤整備」「将来を担う子供達の教育環境整備」「生きがいを持つ健康な暮らし」「その他目的達成のための市長が必要と認める事業」以上7つの用途を選択している。返礼品についても地域の活性化に繋がっており、寄付本来の目的である自治体の政策や事業の応援に役立っているものであると考えている。

・垂水市漁協の再生は着々と



川畑 三郎 議員

・旧なぎさ荘周辺の環境整備を

問 なぎさ荘は、太陽団体の年には現天皇陛下が皇太子のときに宿泊された。現在は荒れ放題、環境上、防犯においても良い状況ではない。現状はどうか伺う。

答 なぎさ荘は、協和小、協和中学校跡地であった土地に南九州観光開発株式会社が昭和40年に開業、海潟地区の中心的存在であったと認識しており、平成8年に閉鎖され現在に至っている。

平成26年度に策定された協和地区の地域振興計画において、地域住民が美しい景観を取り戻すよう望んでいたため、同年9月に市長が所有者を訪問し、周辺環境の改善などについて協議を行った。

しかしながら明確な回答はもらえていない。また、同年12月にレジャー事業の総合開発や閉鎖した施設の再生に取組んでいる県外の企業により、本市への進出に向けた地域現地視察が行われたが具体的な話に進展せず、現在に至っている。

その他の質問事項  
○海潟郵便局となぎさ荘との間の道路の整備について